

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

西新宿六丁目西部、八丁目地区

平成25年3月

東京都新宿区

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	居住者数	人	284	1,300	848	確定 見込み ●	△	あり なし ●	1,043	H24年12月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	目標値には達しなかったが、従前値と比較して人口は格段に増えている。居住者数の増加は現在も続いていることから効果は十分出ている。
指標2	交通量	台/日	62,000	48,000	44,443	確定 ● 見込み	○	あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	放射6号線の整備により、放射24号線の交通量が減少し、交通渋滞の解消に貢献した。
指標3	参加者数	人/年	300	1,500	2,957	確定 ● 見込み	○	あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	新宿中央公園においては、定期的に区民・消防・周辺事業者等が参加する防災訓練等が行われており、地域の防災意識の向上が図られている。
指標4						確定 ● 見込み		あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 ● 見込み		あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	20歳未満の構成員がいる世帯数	世帯	12	/	82	確定 ● 見込み ●	/	/	123	H24年12月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	ファミリー世帯が増加したことにより、夜間人口の回復が図られ、地域の活性化にもつながっている。
その他の数値指標2	騒音	db	78	/	67	確定 ● 見込み	/	/		H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	放射6号線の整備により、放射24号線の交通量が減少し、騒音の減少に寄与している。
その他の数値指標3	不燃化率	%	55.3	/	95.8	確定 ● 見込み	/	/		H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	放射6号線の整備及び沿道の市街地再開発事業の完了により不燃化率が上がり、災害時の安全性が向上した。
その他の数値指標4	緑被率	%	12.0	/	21.1	確定 ● 見込み	/	/		H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	放射6号線の整備及び沿道の市街地再開発事業の完了により緑被率が上がり、良好な都市空間が確保された。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項	
・成果を持続させるために行う方策	都心居住にふさわしい住宅供給による夜間人口の増加や住環境と調和のとれた業務・商業環境の形成	地区内に残る木造住宅密集地区における街区単位の再開発の促進	再開発の促進により、地区内の木造住宅密集地区はほぼ解消され、建替え後は、住宅供給や商業施設整備が開始され、地区の活性化が見込まれる。	
	安全・安心な歩行者空間の確保と木造密集地の改善	地区内に残る木造住宅密集地区における街区単位の再開発の促進	再開発の促進により、地区内の木造住宅密集地区は、ほぼ解消され、道路の整備、オープンスペースの確保により、防災性が向上され、安全安心な歩行者空間確保が見込まれる。	
	放射24号線(青梅街道)の交通渋滞の緩和	放射6号線と接続する放射25号線を整備中(事業期間平成29年3月末まで)	放射6号線の整備完了により、放射24号線の交通渋滞の緩和に寄与しているが、放射25号線の整備完了により、さらに放射6号線への交通の転換が図られる。	
	放送施設の整備による的確な情報提供	新宿中央公園の管理業務受託者に対する防災関連設備の運用に関する講習の実施	区職員が不在となる夜間や休日も含め、災害発生時において迅速に防災関連設備を活用できる体制が整備された。	新宿中央公園は平成25年度から指定管理者制度が導入されることから、指定管理者となる者と十分に協議・調整を図り、同制度のもとでも災害発生時に迅速かつ的確に対応できる体制づくりを行う。
	避難誘導、集合における安全性の向上	新宿中央公園においては、定期的に区民・消防・周辺事業者等が参加する防災訓練等が行われている。また、防災区民組織・学校関係者・消防・区等で組織する避難所運営管理協議会等においても防災関連設備の周知を行っている。	防災訓練等や定例的な会議、区ホームページ等により、防災関連設備の周知が図られ、新宿中央公園が有する防災機能に関して認識が深まりつつある。	
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	ファミリー世帯など、多様な世帯の誘致	周辺の保育園等で、平成23年度から平成24年度に定員拡充や子育て支援事業を拡充。平成23年6月から全区立小学校で、放課後子どもひろばを実施。	子育て中の世帯に対する相談体制の充実、子どもの居場所の確保が図られ、子育てしやすい環境が整備された。	
	防災関連設備の周知及び防災訓練の充実 防災関連設備の災害時使用に関する体制づくり	新宿中央公園においては、定期的に区民・消防・周辺事業者等が参加する防災訓練等が行われるとともに、防災区民組織・学校関係者・消防・区等で組織する避難所運営管理協議会等においても防災関連設備の周知を行っている。また、公園の管理業務受託者に対する防災関連設備の運用に関する講習も実施されている。	防災訓練等や定例的な会議、区ホームページ等により、防災関連設備の周知が図られ、新宿中央公園が有する防災機能に関して認識が深まりつつある。また、夜間や休日も含め、災害発生時において迅速に防災関連設備を活用できる体制が整備された。	新宿中央公園は平成25年度から指定管理者制度が導入されることから、指定管理者となる者と十分に協議・調整を図り、同制度のもとでも災害発生時に迅速かつ的確に対応できる体制づくりを行う。
	災害時の帰宅困難者の受入施設等の検討	新宿中央公園内には、区が指定する帰宅困難者のための一時滞在施設が1所あり、地区周辺には、その外に3施設の一時的滞在施設が指定されている。また、再開発事業施設内には防災機能を備えた広場やホールを整備しており、地域住民並びに帰宅困難者等の一時待避場所として活用していく。	防災時に再開発事業施設内の防災機能を備えた広場やホールを活用することで、地域住民並びに帰宅困難者等の安全を確保することができる。また防災時には、新宿中央公園に帰宅困難者等が多く非難することが予想されることから、その対策の一環として、現地本部を立ち上げるためのテント、発電機、災害用トイレ、事務用品等々も整備した。	首都直下地震等による東京の被害想定(平成24年4月東京都想定)では、新宿駅周辺において約37万人の滞留者が発生すると予想されていることから、今後は、区・防災関係機関・駅周辺事業者で組織されている新宿駅周辺防災対策協議会や東京都等とも連携し、帰宅困難者対策訓練等を実施していく。
	市街地再開発事業前の住民と新たな住民とのコミュニティの形成	地域のコミュニティ団体である町会の活性化のため、区としても積極的に町会加入促進支援を行っている。	町会への加入促進や町会の活動への支援を引き続き行う。	
	木造密集地の改善	地区内に残る木造住宅密集地区における街区単位の再開発の促進	再開発の促進により、地区内の木造住宅密集地区がほぼ解消され、あわせて道路、オープンスペースが確保されることにより、防災性が向上が見込まれる。	

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項